SAKU LABOニュース

No.5
2018年度版
日本女子大学

日本女子大学 人間社会学部 地域と大学によるコラボレーションコミュニティ SAKU LABOニュースレター

今年も参加しました！二ヶ領せせらぎ館「秋の多摩川祭」11月18日(日)

二ヶ領せせらぎ館で開催された「秋の多摩川祭」にSAKU LABOの学生7名が参加しました。毎年恒例の「動く電子絵本の読み聞かせ」「選べる米(まい)バーガー」の販売や「ぺたぺた手形アート」だけでなく、新商品「多摩川あゆバーガー」の販売も行い、地域をもっと盛り上げていこうという気持ちで臨みました(小向)。

Topic★１：新企画！「多摩川あゆバーガー」を考案し、販売しました！

今回の新企画として地域の食材を使った「多摩川あゆバーガー」を考案し、販売しました。企画の背景には、SAKU LABOの活動を通して考えるようになった「多摩川のイメージUP」と「地域貢献」という私たちの想いがありました。近年の環境改善により、多摩川には毎年500万匹以上もの「多摩川鮎」が遡上しています。“清流に棲む魚”というイメージが強い鮎の商品を考案すれば、「多摩川＝きれいな川」というイメージが定着し、関心が深まるきっかけになるのではと考えました。見た目にもこだわり、インパクトを狙うため鮎をまるごと一匹使用したり、タルタルソースには色鮮やかな野菜を混ぜる、といった工夫をしました。当日は「ここでとれた鮎なの？」と多くのお客様に関心を持っていただき、あっという間に完売に至りました。「かわいい」「美味しい」「面白い」といった切り口から多摩川への関心が少しでも深まるきっかけになっていれば嬉しく思います。

鮎は10月に他界された、多摩川で鮎獲り歴60年の鮎取り名人・今出勇雄さんが最後に遺してくださった数十匹を使わせていただきました。今回の「多摩川あゆバーガー」を企画・販売するにあたり、ご協力いただいた皆様ありがとうございました(森田)。

Topic★２：大好評！動く電子絵本の読み聞かせ

今年度も、動く電子絵本の読み聞かせを4人で担当して行いました。会場には沢山の方々が親子で足を運んでくださいました。私達は、手遊びと、絵本の内容に関連した雑談を交えながらスムーズに進行できるように工夫しました。会場にはブルーシートを敷き、来場者に好きな所を選んで座っていただきました。子どもたちは自分で座る場所を楽しそうに選んでいました。手遊びでは、親御さんも一緒に参加して下さり一体感を味わうことができました。絵本には聞いて楽しむお話と、子どもたち自身が参加するお話があり、お互いに楽しい時間を過ごす事ができました。子育ての一端に触れられたように感じ、温かい気持ちになりました。子どもたちには、今回の読み聞かせ時間は長すぎたようだったので、次回は途中に休憩時間を挟みたいです(市川)。

Topic★３：みんなで仲良く！ぺたぺた手形アート

参加したSAKU LABOメンバー全員で、ぺたぺた手形アートを行いました。整理券はあっという間になくなりました。手形でどんな形をつくるのかを参加者に決めてもらったので、それぞれオリジナリティ溢れる作品ができました。子どもたちは指によってつける色を変えたり混ぜたり絵を描いたり、様々な工夫を凝らしていました。初めて進行を務めたので不安でしたが、子どもたちが楽しそうにぺたぺたしていたのを見てとても嬉しい気持ちになりました。今回、ただ文章で説明するだけでなく実際にお手本をやってみせたところ、子どもたちもイメージがわきやすいようだったので、次回もそのようにしたいと思います(吉野)。

＜多摩川エコミュージアム・多藝さんよりコメントをいただきました♪＞

平成30年11月18日(日)午前11時よりせせらぎ館及びせせらぎ館前広場にて秋の多摩川まつりが開催されました。昨年までの秋の収穫祭の名称変更です。好天にも恵まれ、提供した食材は完売、各催しもほぼ満員の盛り上がりでした。
来場1000名突破の大飛躍には日本女子大学の皆さんの頑張りによるところが大きかったです。2階の部屋では絵本の読み聞かせとペタペタ手形アートの2本立ての催しでほぼ満員の盛況でした。又広場ではマイバーガーと初試みの多摩川アユバーガーを提供し早々に完売となりました。主催者としても感謝に堪えないまつりとなりました。

2018年 日女祭（ひめのさい）で地域コラボ商品を販売！ 10月20日(土)・21日(日)

今年度の日女祭では、SAKU LABOの学生10名が地域商店とのコラボ商品「選べる米(まい)バーガー ～カラフル米ベジパン～」とコラボスイーツ「米彦(マイ・プリンス)」「米姫(マイ・プリンセス)」を販売しました。

昨年度までの販売データをもとに仕入れ個数や米バーガーのバンズと具材の種類を検討したり、大勢の方に目をとめていただけるように色や字の大きさに気を配ってポスターと商品の紹介ポップを制作したりしました。そのかいもあり、両日とも全商品完売することが出来ました。商品を購入してくださった方に喜んでいただいた時や「おいしかったよ、これからも活動頑張ってね。」と励ましのお声を掛けていただいた時はとても嬉しかったです(志熊)。

両日とも全品完売！
今年も大好評でした♪

売上の一部を
北海道胆振東部地震
災害義援金として
寄付いたしました

クリーンアップたま ～Citigroup Japan Holdings Corp. Global Communication Day～ 6月2日(土)

クリーンアップたまは、二ヶ領せせらぎ館を拠点とし多摩川のほとりを清掃するボランティア活動です。第13回グローバルコミュニケーションデーとして、シティグループや二ヶ領せせらぎ館スタッフのみなさんなど大勢の方と一緒に参加しました。多摩川は何年もかけて水質を改善してきましたが、毎年たくさんのごみが集まります。生態系を崩さない奇麗な川である為に、意識的にごみを持ち帰ることは大切です。私はこのボランティアに参加して環境に対する意識が変わりました。これからは、環境に配慮した生活の大切さを発信していければと思います(木村)。

多摩区役所主催！たまなび ～たまなびこども1日商店街～ に参加しました！ 11月17日(土)

「たまなび」とは、多摩区内にある専修大学・明治大学・日本女子大学の3つの大学の学生を対象に「多摩区を知り・学び・実践する」多摩区役所主催のプログラムです。街歩きやディスカッションを重ねた成果として大学生が班に分かれお店を企画し、小学生と一緒に企画したお店を開催するというイベントに参加しました(中野)。

野菜でつくったスタンプを使ってエコバッグを作る企画

たまなびを通して、他大学の学生と連携することの大変さを感じた反面、親しくなれたことが嬉しかったです。完成したひとつひとつのエコバッグには、それぞれの味わいがありどれも素敵な作品となりました。たくさんの方との交流を通し、多くの笑顔が見られた1日でした(黒澤)。

多摩区役所が主催する初めての試みだったので、全てを予測して考えることが必要とされました。当日は風が強く、材料の紙皿が飛ばされてしまう等ハプニングが起こるなど、シミュレーションの強化が今後の課題であると感じました。多くの方に喜んでいただけたのでとても楽しい1日でした(木村)。

多摩区のお店の商品を紹介・販売する「多摩区屋さん」

メンバーがそれぞれ違う大学のために準備が大変でしたが、当日は商品が1時間で完売するほど多くの方に足を運んでいただきました。小学生は想像以上にしっかりしており、商品の受け渡しや宣伝を元気にしてくれました。活動を通して、地域の方々と広く交流でき、多摩区を深く知る良い機会でした(中野)。

＜多摩区役所　地域振興課の木野田さんよりコメントをいただきました♪＞

今年度から新たに取り組む連続プログラム「たまなび」では、区内三大学の学生25名が「1日子ども商店街」で地元の小学生と一緒に運営する4つの店を立ち上げました。サクラボからも3名の学生さんに参加いただき、お姉さん役となって小学生をサポートしながら、お店を盛り上げてくれました。たまなびへの参加を通し、座学では得られない学びや気づきを得て、少しでも多摩区に愛着を感じてもらえたらと願っています。

編集後記

今回のSAKU LABOニュースは大人数で制作したので、ひとりで担う仕事が減る一方、とりまとめるのが大変でした。しかし作るたびに新しい学びがあり、完成した時には嬉しさも一入です(小向)。今年度も地域の方々に大変お世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。今後も活動を続けるメンバーには、引き続き自分の好奇心を大切に様々なことにチャレンジして楽しく活動してほしいです(森田)。今年度はメンバー各自が自主的に様々な活動に取り組みました。うまくいった点や反省すべき点、たくさんのことを学びましたが、ひとつひとつが貴重な経験です。SAKU LABOを支えてくださった皆様に感謝いたします(志熊)。初めてSAKU LABOの活動に参加しました。先生方と先輩方の築いてきた繋がりが自由な活動を支えました。新企画を始める際は、時間がかかる事が分かりました。ひとつずつ取り掛かる事が成功の秘訣だと学びました(市川)。

【編集スタッフ・記事執筆者】小向紗瑛(文化3) 森田絵美(文化3) 木村日香(現社2) 黒澤未来(現社2) 志熊あさこ(文化2) 吉野あゆみ(社福2) 市川あずさ(教育1) 中野紗希(文化1) 平岡万莉乃(現社1)
【情報教育研究室 教職員】久東光代　佐藤夏月　高倉朋子　都留薫　一杉眞知子
【協力団体・店舗】NPO法人多摩川エコミュージアム，菓聖はしば，蕎麦酒房 笙，社会福祉法人はぐるまの会，関精肉店，多摩区役所，二ヶ領せせらぎ館，ベーカリーPolaris，モンタナ洋菓子店

SAKU LABO
お問合せ：日本女子大学 人間社会学部 心理学科 情報教育研究室
住所：〒214-8565 神奈川県川崎市多摩区西生田1-1-1
電話：044-952-6792　E-mail：sakulabo@fc.jwu.ac.jp
URL： http://mcn-www.jwu.ac.jp/~sakulabo/
日本女子大学